

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（伊方発電所第3号機 設計及び工事計画（使用済燃料乾式貯蔵施設の設置）【1】）」
2. 日時：令和3年1月27日（水） 14時00分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

藤森安全管理調査官、塚部管理官補佐※、堀口主任安全審査官  
井上主任安全審査官、大野安全審査官、櫻井安全審査官  
府川審査チーム員

（火災室）

守谷室長、奥田専門職※、山下係長

四国電力株式会社：

原子力部 発電管理部長 他21名※

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子力工事グループ 担当者他1名※

#### 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

#### 6. その他

提出資料：

- ・伊方発電所3号機 使用済燃料乾式貯蔵施設設置に係る設計及び工事計画認可申請の概要について
- ・伊方発電所3号機 設計及び工事計画認可申請に該当する技術基準規則の条文整理表（使用済燃料乾式貯蔵施設）
- ・伊方発電所3号機 設計及び工事計画認可申請に係る添付書類の要否検討結果（使用済燃料乾式貯蔵施設）
- ・伊方発電所3号機 設計及び工事計画に係る説明資料（耐震性に関する説明書）（使用済燃料乾式貯蔵施設）
- ・設計及び工事計画認可申請書（伊方発電所第3号機の変更の工事）（添付資料9部分）（令和3年1月8日申請）（1/3）
- ・設計及び工事計画認可申請書（伊方発電所第3号機の変更の工事）（添付資料9部分）（令和3年1月8日申請）（2/3）

- ・設計及び工事計画認可申請書（伊方発電所第3号機の変更の工事）（添付資料9部分）（令和3年1月8日申請）（3/3）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁サクライです。これからの伊方発電所 3 号機の使用済み燃料乾式貯蔵施設設置工事に係る設工認申請の
0:00:13	とヒアリングを始めたいと思います。四国電力
0:00:17	説明をお願いします。
0:00:21	はい、四国電力発電管理部長の渡辺でございます。説明を始める前に一言、設置許可に引き続き、設工認の審査の方をよろしく申し上げます。乾式貯蔵施設の地元対応につきましてはおかげさまで。
0:00:39	年末に了解いただきました。今後設工認の断面ではですね重合対応のイベント等は大きなものはございませんので、我々としては肅々と審査のほうを覆う対応して参りますのでよろしくお願いいたします。
0:00:56	それでは説明開始いたします。
0:00:59	四国電力のホリケですよろしく申し上げます。まず資料の確認をさせていただきます。今回 2 部構成とさせていただいております、まず 1 一部目概要説明としまして、資料リスト使用済み燃料乾式再攪拌するヒアリングとしましてアワーポイントの資料、
0:01:18	①が一つ。それとそれの補足説明資料でありますDSF-001、これは②へもう 1 個補足説明資料DSFの 002、こちら③として今回この三つをもちまして概要説明を行いたいと思います。
0:01:37	資料のほうはありますでしょうか。
0:01:39	あれ。
0:01:41	はい。
0:01:44	それではどう四国電力がオオヒラのほうから、当初申請概要についてご説明させていただきます。資料としましては、先ほど申し上げた通り 3①から③までございますけれども、資料②と③につきましては、資料①の内容と重複いたしますので、
0:02:02	説明は、資料①を使って説明したいと思っております。それでは①の資料をお願いします。
0:02:11	伊方発電所 3 号機使用済み燃料乾式貯蔵施設設置工事に係る設計及び工事計画認可申請の概要について御説明いたします。見方もある。1 ページ目は目次ですので割愛させていただきます。2 ページをお願いします。
0:02:28	まず(1)の工事概要ですけれども、伊方ゼンショーの使用済み燃料の貯蔵裕度を確保する観点から、使用済み燃料乾式で貯蔵することができる、使用済み燃料乾式貯蔵施設を設置することとしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	使用済み燃料乾式貯蔵施設はパンチキャスクと鑑識活動保管する使用済み燃料乾式貯蔵建屋等からなり、今回の工事においては、乾式貯蔵建屋等の設置工事と設置変更許可で許可をいただいている乾式キャスク 45 基のうち、
0:03:00	当面の間、発電所の安定運転を継続するために必要となる 15 億円を調達及び設置工事を実施いたします。次のページをお願いします。
0:03:11	許認可対応系でございます。まず設置変更許可につきましては、平成 30 年 5 月 25 日に申請を行い、昨年 9 月 16 日に許可をいただいております。
0:03:23	保安設計及び工事計画認可につきましては、本年 1 月 8 日に申請してございます。なお、乾式キャスクは輸送貯蔵兼用として設計性ございまして、外元旦規則第 21 条 2 項の規定による輸送容器としての設計について、昨年 11 月 30 日に承認を
0:03:42	いただいております。次のページをお願いします。
0:03:46	続きまして、乾式貯蔵施設の概要について御説明いたします。まず兼用キャスクにつきましては 2 種類の先方の使用済み燃料貯蔵するため、四つの安全機能を有する専用の乾式キャスクを 2 種類制作し、
0:04:01	貯蔵が年を介して設置することといたしております。
0:04:05	具体的には 12 合議用の燃料である乾式逆算タイプ案を 14 期、3 号用の燃料である乾式ガス Type II を、一基の合計 15 基を設置することといたしております。次のページをお願いします。
0:04:23	続きまして周辺施設の JA 貯蔵建屋についての概要をご説明いたします。
0:04:29	貯蔵建屋の設置場所は 3 号機から南に位置する 25 メーター版とした建屋の特徴としましては、乾式キャスクのほかのための用途に応じた 3 エリア貯蔵エリア取扱エリア UTP エリア及び自然冷却を行うための吸排気機構を有する構造としております。
0:04:49	また、例えば自然現象等に対して伴式キャスクの安全機能を損なうおそれがないように感知器圧空の線量低減させる遮へい機能を有するよう鉄筋コンクリートづくりとしております。次のページをお願いします。
0:05:06	続きまして、周辺施設のうち、クレーン類について御説明いたします。
0:05:11	S クレーン類といたしまして、乾式キャスクを取扱エリアで取り扱う天井クレーンと乾式キャスクを貯蔵エリアから失礼でも質問した取扱エリアから貯蔵エリアに運搬する際に用いる搬送台車を設置することとしております。
0:05:29	次のページをお願いします。
0:05:33	続きまして、計装設備のうち、失礼しました周辺施設のうち、計装設備について御説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:41	主には三つございまして、乾式キャスクの閉じ込め機能を監視するために、当乾式キャスクの蓋間圧力計を播州キャスクの除熱機能を確認するために乾式キャスクの表面温度計を盾が乾式キャスクの除熱機能を阻害しないことを確認するために、
0:06:00	建屋内の雰囲気温度計を設置することとしております。
0:06:04	次のページをお願いします。
0:06:07	続きまして乾式キャスクの取り扱いの流れについて御説明いたします、乾式キャスクを専用車両で取り扱いエリアに搬入し、天井クレーンで荷下ろした後、検査が大で系統す。
0:06:22	設備を取りつけることとしております。その後乾式キャスクを運搬台車にて、ちょうど依頼労使所定の場所見て保管することといたしております。なお搬出については、先ほどご説明したじゃんの逆の手順となります。
0:06:39	次のページをお願いします。
0:06:42	ここからは、工事計画についてご説明いたします。
0:06:47	本工事は次の 9 ページから 11 ページに示しております水基準規則の各条文に適合していることを今回した申請した設計及び工事計画のバック施設の基本設計方針、各添付資料にて説明しております。
0:07:04	具体的な内容については事故時ページ以降で御説明いたします。続きまして、
0:07:12	内容と部分がページと思うんですが 12 ページをお願いします。
0:07:19	まず申請範囲でございます。
0:07:22	今回の申請には核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、
0:07:28	原子炉冷却系統施設、放射線管理施設及び火災防護設備が該当いたします。
0:07:35	今回申請範囲の要目表の概要を 13 から 14 ページで説明した後、各施設ごとの基本設計方針の概要を 15 から 21 ページにて説明いたします。次のページをお願いします。
0:07:50	記
0:07:50	ホームページは、工事計画の要目表に記載している設備を示しております。
0:07:56	工事計画では、実用炉規則の別表第 2 に基づき、使用済み燃料貯蔵設備を構成する設備乾式キャスク蓋間圧力計A乾式貯蔵建屋の生体遮へい措置を補助遮へい及び火災防護設備として、
0:08:12	乾式貯蔵建屋内の火災区域及び区画構造物並びに超過説明消火配管仕様について記載してございます。次のページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:24	ホームページは使用済み燃料貯蔵設備の要目表の受使用済み燃料貯蔵用容器に該当する乾式キャスクの主な記載事項証明してございます。
0:08:35	単式キャスクは2種類ございまして、それぞれの使用済み燃料のちよつと容量、使用材料及び個数等を記載してございます。
0:08:45	次のページをお願いします。
0:08:48	ここからは基本設計方針の変更箇所について御説明いたします。まず、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵設備の貯蔵施設の基本設計方針変更箇所を15ページから17ページに示してございます。
0:09:05	本ページは、主な変更箇所である使用済み燃料乾式貯蔵施設の設置に伴い、当該施設を考慮した貯蔵容量及び立ち入りの防止については記載箇所を示してございます。次のページをお願いします。
0:09:20	本ページではどうもな変更箇所である使用済み燃料貯蔵施設を構成する兼用キャスク周辺施設を構成についてのぜひヶ所示してございます。次のページをお願いします。
0:09:35	ホームページでは、主な変更箇所である乾式キャスクの四つが安全機能である、臨界防止、除熱、閉じ込め監視、
0:09:44	遮へいについての税金箇所及び乾式キャスクは、設計貯蔵期間にわたり健全性を維持できる設計であることの長期健全性についての定期箇所を示してございます。
0:09:56	次のページをお願いします。
0:09:59	ここからは減少却系統施設の設計基本設計方針変更箇所を18ページから14、9ページに示してございます。
0:10:08	本ページは、主な変更課長として使用済み燃料乾式貯蔵施設の設置に伴う乾式キャスク設置地盤の基準地震動に対する地盤安定性の次課長示してございます。
0:10:22	なお、地盤評価におきましては、従来のほかの先生と同様、設置変更許可裸にペイ方針に加えて媒体結果までを御確認いただき許可をいただいておりますので、評価中身が変わっておりません。
0:10:35	設計及び工事計画申請書においては、工事計画反映して建家の重量等若干見直し耐震の計算書として債権提出させていただいております。次のページをお願いします。
0:10:50	ホームページでは主な変更箇所である乾式キャスクの基準地震動に対する安全機能の維持及び安全機能維持のための許容限界の税間かさを及び乾式キャスクに対する波及的影響の防止に対する設計方針の定期図書示してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:09	次のページをお願いします。
0:11:12	続きまして° 放射線管理施設の基本設計方針の変更過剰示してございます。
0:11:18	本ページでは、主な変更箇所として使用済み燃料乾式貯蔵施設の設置に伴い、
0:11:24	使用済み燃料乾式貯蔵建屋からの中性線は中性子及びガンマ線を考慮した遮へい設計の設計方針のてっけ所示してございます。
0:11:34	次のページをお願いします。
0:11:39	本ページでは、火災防護設の基本設計方針として、使用済み燃料乾式貯蔵施設設置に伴う盤式造建屋内の火災の感知及び消火に関する基本設計方針のぜひヶ所示してございます。次のページをお願いします。
0:11:57	ここからは° 実用炉規則第別表第 2 に基づき、今回の設計及び工事計画において、添付している添付資料を示してございますが、対象とする添付資料のリスト当該説明概要を 22 ページは 23 ページに示しております。
0:12:14	主な添付資料の概要については 24 ページ以降にて説明いたします。続きまして 24 ページをお願いします。
0:12:26	ホームページは、設工認添付資料 2 の自然現象等による損傷の防止に関する設計について示してございます。
0:12:34	技術基準規則第 6 条、津波による損傷の防止及び第 7 条、外部からの損傷による防止措置を外部からの衝撃による損傷の防止への適合の観点から乾式キャスクは自然現象等に対して安全性が損なわれないよう設計しております。
0:12:51	具体的には
0:12:54	パワーポイントに記載して、津波、竜巻、火山外部化家財等において乾式キャスクの安全機能を損なわないように設計してございます。次のページをお願いします。
0:13:08	本ページは設工認添付資料 9 の乾式キャスクの耐震設計について説明しております。
0:13:15	技術基準規則第 5 条、地震による損傷の防止への適合の観点から乾式キャスクは、基準地震動 $S_s$ による地震力に対し、四つの安全機能が損なわれる恐れがないように設計しております。
0:13:28	また、乾式貯蔵建屋等が基準地震動 $S_s$ による地震力に対して、乾式キャスクに発表的影響を与えないことを確認しております。
0:13:37	次のページをお願いします。
0:13:43	続きましてホームページは、設工認添付資料 10 の監視気がつか強度計算について先般説明してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:51	技術基準規則第 17 条材料及び構造への適合の観点から、クラス 3 容器として設計建設規格に基づいた強度評価を実施しております。また、第 26 条燃料取扱設備及び燃料貯蔵設備への適用の観点から、
0:14:08	委員続活構造規格等にも準じた強度計算を実施しております。
0:14:14	続きまして、27 ページをお願いします。
0:14:20	本ページ以降乾式キャスクの四つの安全機能についての設計を示してございます。
0:14:26	まず設工認添付資料 11 の閉じ込め機能についてですが、技術基準規則第 26 条第 2 項第 6 号イへの適合は観点として設計貯蔵期間を通じて乾式キャスクが放射性物質を適切に閉じ込めることが、
0:14:44	確かめることと、その機能を適切に監視できるかどうか確認してございます。
0:14:49	朝会においては保守的な条件のもとで、設計貯蔵期間中に乾式キャスク本体配分は負圧が維持できる漏えい率を基準漏えい率としてまとめて使用する金属ガスケットの漏えい率が基準漏えい率より
0:15:05	小さいことを確認してございます。
0:15:08	次のページをお願いします。
0:15:12	本ページは、設工認添付資料 12 の臨界防止機能について説明しております。
0:15:18	技術基準規則第 26 条第 2 項第 1 号への適合の観点として技術的に想定されるいかなる場合でも、乾式キャスクに収納した使用済み燃料が臨界に達するおそれがないことを確認しております。
0:15:33	評価結果から乾式キャスクの中性子実効増倍率が不確定性を含めて、設計基準以下となり、ANSI規格に収納した使用済み燃料が臨界に達するおそれがないことを確認しております。
0:15:46	次のページをお願いします。
0:15:50	本ページは設工認添付資料 14 の遮へい機能について説明しております。
0:15:56	技術基準規則第 26 条第 2 項 6 号炉への適合の観点として、乾式キャスクが使用済み燃料からの放射線に対して適正全社平均能力を有することを確認しております。
0:16:10	評価結果から、
0:16:12	乾式キャスクの表面及び表面から 1 メーター離れた位置の
0:16:16	弁量当量率が設計基準以下となり、乾式キャスクが適切な遮へい能力を有することを確認しております。
0:16:25	次のページをお願いします。
0:16:28	本ページは設工認添付資料 13 の除熱機能について設置示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:34	次基準規則第 2 区 26 条第 2 項第 2 号への適合の観点として設計上想定される状態において、乾式キャスクが使用済み燃料の熱崩壊を安全に除去できることを確認しております。
0:16:49	また、乾式貯蔵建屋が乾式キャスクの除熱機能を阻害しないことも確認しております評価結果から、燃料被覆管の温度が制限温度制限値以下となり、使用済み燃料熱崩壊を安全に除去できることを確認しております。
0:17:05	次のページをお願いします。
0:17:09	ホームページは、設工認添付資料 16 の乾式貯蔵建屋の遮へい設計について示しております。
0:17:16	技術基準規則第 42 条への適合として、A敷地境界外における線量評価及び
0:17:24	管理区域境界における線量評価を実施し、乾式貯蔵建屋が乾式キャスクから放射線に対して適切な遮へい能力を有することを確認しております。
0:17:35	次のページをお願いします。
0:17:38	はい。
0:17:39	最後に堂本工事の工事及び検査の工程についてご説明いたします。
0:17:45	使用済み燃料乾式貯蔵施設は、伊方発電所の使用済み燃料のちょうど裕度を確保する観点からは 6 年度に運用開始できるよう、乾式貯蔵建屋等の設置工事の一般地下水の調達及び設置工事を並行して実施いたします。
0:18:01	乾式貯蔵建屋等の設置工事は例は 6 年度までの現地工事完了を目指しておりますが、乾式熱くは工場の製造能力等を考慮しては 6 年度から、年度単位で 4 分割の範囲は想定しております。
0:18:15	このため、15 基反映するには 0 は 9 年度までの期間を要する予定でございます。
0:18:22	このため、使用済み燃料安全に貯蔵する観点から、
0:18:27	乾式貯蔵建屋等及び各反映単位で乾式キャスクAから容器ですが、の使用済み失礼しました使用前事業者検査が終了したのから、
0:18:39	準備しよう開始できるよう、使用前確認申請時に、
0:18:43	実用炉規則第 17 条第 3 号の規定に基づく一部使用承認手続きを行う計画としてございます。
0:18:53	33 ページ以降は設置変更許可のバス、我々の設計方針の抜粋となりますので説明は割愛させていただきますし、簡単でございますけれども、概要説明は以上でございます。
0:19:08	はい。
0:19:10	ありがとうございました。ではこちらから質問を幾つかいただいていますとまず判断していけばいいんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:20	技術的なという、この申請について助成近づけてワーキングキャスク 45 件って、早計では出しているけれども、今回の設置移設そこには 15 基、
0:19:36	で申請する。
0:19:40	この理由っていうのも行ってもう一度御説明願えますか。
0:19:45	はい。
0:19:49	四国電力のホリケです。あせおっしゃった通り設置許可ではですね 45 基の申請
0:19:57	として人コアをいただいておりますので今回はですね、伊方発電所のましよう 済み燃料の
0:20:05	ちょっと計画 10 日前踏まえましてですね、しばらくの間安定的に運転するために必要な需要期というものをまず申請させていただくと、先ほど工程のほうにもありましたが、県乾式キャスクにつきましてはですね性の向上の整合能力等を踏まえまして、
0:20:24	ある程度の期間を要しますので、10 号機でも例は 6 年、
0:20:30	今 9 年度までに
0:20:34	には完了するということでございますので、まずは 10 号機を申請させていただくというところでございます。ただ建家等ですね耐震につきましてはですね 40 号機。
0:20:44	言っても大丈夫なことを今回ご審議を説明しますし、遮へいにつきましてもですね、45 期収納してもですね、その遮へい建屋としての遮へい能力があるということをご報告 2 で説明させていただくものと考えております。
0:20:59	はい、ありがとうございますので 32 ページのほうでの工程っていう部分ですけど、教育、
0:21:07	これは誤記だと俺例は核燃、まあ、大体 5 年。
0:21:13	五、六年がかりってことなので、
0:21:16	メーカーの製造能力っていうこと申し上げましたけど、大体、
0:21:21	3 期ぐらいね 3 期ぐらい、
0:21:26	ぐらいができるからっていうこと理由に挙げられるっていうことなん。
0:21:32	ですよ。
0:21:33	はい。
0:21:36	それとあと買ったところもあれなんですけど。
0:21:40	数の内訳が例えばタイプ湾が 14 基で Type II は、っていうポイント 4 ページなんですけど、改めて何か理由あるんですか、最初にタイプタイプその 12 号用の燃料入れるもの。
0:21:56	初めに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:59	使っちゃうっていうのは、
0:22:01	四国電力のカツムラでございます。15基の内訳につきましては、32B型14綺麗間に準備が待機というところですがけれどもまずあの今回の設工認申請の中で24Pガタッとまさに型タイプ1とタイプ2ですね、両方。
0:22:18	建家をセットした安全性を説明させていただきたいということがある一方で、
0:22:23	伊方聖書のピットのリスクを下げていくという観点では32Pの方を32体収納の方を優先して使いたいというところもありまして、その両方勘案して14期と域と。
0:22:36	いう内訳で申請させていただいております。以上です。
0:22:43	御説明ありがとうございます。
0:22:45	想定とあとパワーポイントの
0:22:49	そういうさ、
0:22:52	15ページから
0:22:54	それぞれの工事計画の基本設計方針でいいのでは、いろんな裕度で具体的な説明、申請の概要のほうに13ページとか載っていてこれこちら例えば火災とかの設定、時21ページで火災の部分はこういうふうに変更しますよっていうふうに書かれているんですけど、こちらの中で具体的に
0:23:14	説明っていうふうに載せていないっていうのは何かこう、
0:23:18	何か違いで、
0:23:20	四つの安全機能ってないまじ。
0:23:23	出してくっていうのはわかるんですけども、
0:23:27	こうなんです。具体的に説明するしないの市街地なんですか。
0:23:34	四国電力のホリケです。今回火災につきましては、火災感知器及び消火設備は消防法に基づいてというところが季節と少し違う方法ではございますが、基本的にはですね、既設プラントと同じようにですね、消火配管、
0:23:51	引いてきたりとか、火災区域区画を設置してですね、きちんとその区画ができているというところですね、今まで再稼働以降説明してきた内容と一緒にございますので、今回は乾式の特徴のあるところに限定してですね。
0:24:07	パワーポイントのほうには入れているというところでございます。
0:24:13	いうがわかりました。LIBOR系でございます。復興に何か。
0:24:19	例えばモリヤで
0:24:23	すいません説明されているかと思うんですけど、基本的なことに使ってますけど、教えてくださいというの10ページのところ実績等を今回の場合ですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:38	はいどうぞ。流動は株主だと思うんですけど、150°C環境下に一般システム大丈夫なお客さんということで理解してよろしいですか。
0:24:52	すいません四国電力ホリケですちょっとすいません、前半の部分がですね、ちょっと聞き取れなかったので申しわけないんですけどちょっともう一度お願いします。
0:25:07	その仕様が書いてありますけれども、ひよ客土鉄道のドーンツ等の環境管理この客数を
0:25:16	1時間とか2時間とか置きっ放しにしても、F健全性を保たれるという理解でよろしいでしょうか。
0:25:30	四国電力のカツムラでございます。当然今おっしゃったのは、容器のところの150° っていうところですよ。
0:25:37	についてですかね、環境のっていうのはその雰囲気温度そのカスクの周囲のか、いわゆる環境温度だと思いますけども、環境の150°Cではなくてですね、50 度なんではもちろん超える環境借入長時間お金減ることという健全性に影響があるということですよ。
0:25:58	°よりは、
0:26:00	乾式カスクの除熱機能の安全性確認としては環境の50度で各構造部材の温度が使用可能な温度におさまってるというのを確認してございますので、55° 50° 以下の環境温度であれば安全性は確認しているというものでございます。
0:26:20	出しました。それ絶対、今後、
0:26:25	もちろん、
0:26:27	はい。四国電力の風間でございますけども50° を超えるような条件で解析していないということでもありますけども、基本的にその環境温度が50° を超えることがないということを確認しています。
0:26:41	初めに御理解いただければと思います。超えないことを確認して、
0:26:45	50度超えた状態で状況での
0:26:48	機能性発議達してないということも事実を確認したかったんです。やっぱり
0:26:56	どうも
0:26:57	これは本来、結論として障防法D従業者形での感知器と消火設備つけるっていうのは、そうなんか。そうしたいという意向はわかるんですけども、要は50° という環境にしないように、
0:27:15	またいつごろが置かれたときはほぼ50° を超えるような大きな発生しない。
0:27:22	量に抑えるとか、もしくは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:25	はい、監視をより早くして 50° という今はるかに下回る本土で整理をするようにするとか、消化消火についても、50° を超えるような環境にならないように早期の消火をするとか、夫婦が全部影響してきますので、
0:27:43	そういう観点で今後感知消火といったところについての説明をお願いします。
0:27:59	もしもし聞こえて申したか。
0:28:02	今回こそ関係を示していないので、それからあれでモリヤして今後の火災でのヒアリングデータ、このこと適用っていう
0:28:12	今日も出したと思うんですけど。
0:28:14	よろしいですか。
0:28:16	すいません四国電力のホリケです。ちょっと先ほど説明した内容でちょっと補足しますが、
0:28:22	徐熱評価についてはですね、
0:28:26	並行解析をやっておりますので、その瞬間的に 50°C を超えたからアウトになるとかっていうものではございません。
0:28:33	なので、先ほどご説明いただいた 50° を超えるまでに
0:28:38	決算ライト消化しないと安全機能が損なわれるというものではないと。
0:28:44	いうふうに意識です。
0:28:46	フジモリは別の消防法に基づいて対応した場合にですね、最悪のケース考え方の本当に一般建物で考えるとですね、障防法に基づく消火っていうのが、なぜ一部使って消火するっていう想定し得る話なんですよ。
0:29:03	それ想定していけないと思うんですけど、が 50° という環境カーい。
0:29:09	何。
0:29:10	例えば 1 時間ができる。
0:29:13	1 社、
0:29:15	それから、
0:29:16	大丈夫ですっていうふうに言ってもらえばそれは障防法できますね。できますし、
0:29:21	障防法通りの設備をつけますと言ったときにその設備がを使った消火活動がどれぐらいの時間になるのかっていうと、添そこに
0:29:33	そこで発生する火災によるエネルギーがどれぐらいあるかっていうのはバランスで考えられますので、
0:29:41	後程土曜日自体が機能を失わないように、
0:29:46	関知して消火するのが仕事だと思いますのでその辺が確保できるように、所いろいろ
0:29:55	設備を設定してますという説明をしていただければと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:04	建築の話で、
0:30:06	ピックアップ
0:30:09	すみません四国電力の瀧川と申します。共済と火災のですね火災防護に関する基本的な設計方針につきましては、設置型の段階からも御議論させていただいております、PowerPointできますと37ページ。
0:30:24	になります。ちょっとここにはまだちょっと書き切れないでないところもございますけどそのちょうどエリアにつきましてはですね、不燃性のものを極力置かないということで、キャン型のキャスク自体も難燃のもので、船のもので構成されてございますので、
0:30:42	その他にもあんまり基本的に貯蔵エリアにはそういうものを置かないというところで、まず、火災は起こりにくいというところの前提を御説明させていただきましてですね、その上で、当時加西市長さんと
0:30:58	ちょうど審査いただきまして、その際にですね、ローマゼロというのは、感知器等ゼロというのはちょっとさすがに
0:31:07	意見いかなものかというところがございまして、なんで消防に基づき1種類の感知器及び消火設備については水消火というところで基本設計として許可いただいているというところでございます。
0:31:23	今回工認においてはその許可の内容を元に設計させていただこうというところでございます。
0:31:30	なのでちょっともう一度設置許可で御説明したところから必要に応じご説明させていただきます。
0:31:38	のがいいのかなと思っておりますが、
0:31:40	いかがでしょうか。
0:31:49	内容承知してますけれども、
0:31:52	まず発生防止に係るもし発生防止オクダの可燃物を置かないところっていうのが基本であったら、とそソフト対策だけで所可燃物がないかと組むというのはちょっと合理的ではないんです。
0:32:08	で報告がないというふうにしてますっていうところだけで担保するかと無理で、
0:32:15	それで、例えばも閉まったけどされていたとしても、
0:32:21	100スズキにスズキの影響が及ばないように早期の感知をします、こちらからお客様の機能に影響が及ぶよりも早く消火できます。
0:32:31	それが溢水実現できるような設備として障防法で決めてる部分がある等々の感知器等々の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:42	消火設備を設けましたっていう説明をしていただければと思うんですけども、その辺の説明の仕方についてはちょっとよく御検討いただければと思います。
0:32:57	そこで、
0:32:59	そうです。
0:33:02	ご指摘の趣旨／AA町承りましたが、はい。ちょっと改めて設置許可の段階からもう一度御説明させていただこうと思います。
0:33:17	よろしくお願いします。
0:33:29	形になると話をしてるんですけども、時サカモトの中で昇降に基づいて、感知器評価で続けますと言っている中でもですね。その時に選ぶべき感知器をどういうふうにするかということについては時具体的放射性影響ですとか、火災系消灯
0:33:49	話して決めますと、逆に評価のときも言っておりますということで言われておりますし、消火設備についても大分内容ずーっとをつけかえますっていうふうになるとか言われてますので、その辺御説明の中でどるいただける。
0:34:08	階段を証言カタキガワでございます。了解いたしました。
0:34:17	これ、
0:34:18	あります。
0:34:26	どうぞ。
0:34:27	はい。
0:34:30	私、規制庁フォーラムサクライですけども移転時あれですよ。今回の申請って建家等のキャスクっていうので出されていると思うんですけど、自然現象に対しては一応、
0:34:44	建屋、
0:34:47	この 24 ページで見るとキャスク乾式キャスクの自然現象等による損傷の防止に関する設計、
0:34:54	具体的になってるんですけど一応建屋を含めての
0:34:58	自然現象。
0:35:00	例えば、竜巻防護施設みたいな形でどちらともちゃんと検討しているっていうことをですね。
0:35:11	はい四国電力ホリケですはいご認識の通りでございます、
0:35:15	投資が減少につきましては次回のヒアリングでその辺りの強度評価も含めて説明させていただこうと考えております。
0:35:25	ございますでしょうか。
0:35:30	どうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:31	すみません、火災対策質問ヤマシタといいます。
0:35:34	今後のスケジュール感なんですけども、消防設備の具体的な設置計画的に
0:35:50	はい。
0:35:53	では、
0:35:56	所でボーリングを行った際ちょっと早めですし、すみません四国電力タキガワ でございます。
0:36:05	ちょっと等火災につきましては、ちょっと前倒しではいを説明させていただいた ほうがいいかなというふうに思いますので、
0:36:14	また2月に入ってですね、からということで、今後調整させていただけたらなと 思います。よろしくをお願いします。
0:36:25	はい、ありがとうございます。
0:36:27	資料の作成にあたってなんですけども、先ほどモリヤのほうからありましたよう に、
0:36:34	放射線の影響、その他の環境条件と火災製造をそれらを踏まえて選定すると いうふうになってるんですけども。
0:36:43	どのように考慮するのが、外的にご説明をお願いします。
0:36:49	それから消化管ちゅうとしまして、
0:36:54	意見オオノ水源消化水
0:36:57	設けることとされていますけれども、具体的な設置計画というのを説明いた きたいなと思います。
0:37:03	それから、危険物の火災の対策としまして、
0:37:08	移動式の消火設備、
0:37:10	消防車両を2台というふうになっていますけれども、そちらについても具体的 な説明をお願いします。
0:37:18	以上です。
0:37:20	はい、四国電力ホリケ債了解しました。
0:37:32	ツカベさんに何かありますか。
0:37:37	規制庁使う予定ですけど、何点か教えていただきたい点がありまして、ちょっと 1点目が今日の説明の中で、設計商品の話を口頭でされたと思うんですが、
0:37:51	それとか資料に書いてありますか。
0:37:56	各電力のホリケです。ノポンドの資料でいきますとパワーポイント3ページ。
0:38:09	の表の下ですねお書きのところに記載をしております。
0:38:16	規制庁、深堀ですか。はい。それと、すみません。それと、あとですね、パワー ポイントの23ページの添付資料15の添付資料としまして、受けたところ について説明するというのを説明概要のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:32	はい、記載をさせていただいております。
0:38:38	ツカベです。はい。これちょっと私が見てる資料が違う場所になるかもしれないんですが、別途一つお願いなんです、設計書に受けていて、同じところを、また、既設の工認で同じ審査をするのもあまり効率的ではないと思っております、
0:38:57	戦略国会提出いただいているの評価の内容なり説明のない教頭設計承認で御説明いただいている内容をちょっと対比していただいてここはもう設計承認段階でこう説明していますというのをちょっとわかるような
0:39:13	資料で御説明していただきたい。
0:39:16	ですが、いかがでしょうか。
0:39:20	四国電力のカツムラでございます。今回の工認当然Srでの例えば説明項目の比較とかあとは、解析条件とか、主なものを
0:39:33	そういったのを比較して、概要が、
0:39:37	違いがわかるような
0:39:39	ところを抽出してというそんなイメージでよろしいでしょうか。
0:39:44	ただですね、調査に特にあのキャスク本体のところはもう設計承認の方で多分入れているところで、はいはい差異のところを中心に見さしていただいて、施設側のところを中心に審査することになるかなと思っているので、
0:40:01	よろしく申し上げます。はい、承知いたしました。
0:40:06	あともう1点なんですけど先ほどちょっと桜井から回ったまま15体を用いて、1回は、
0:40:13	24Pですという話で、24Pも含めて、両方審査で見たいのということだと思なんですけどこれは実際その発注工事としても、
0:40:29	もう今回15体まとめて、
0:40:34	実際に契約するような形になるということでもよろしいですか。
0:40:40	四国電力のカツムラですご認識いただいている通り10号機まとめて発注するという形です。
0:40:49	プレスはいわかりました。
0:40:51	私からは以上です。
0:40:56	すみません、規制庁参加ありがとうございましたと試されとう規制庁サクライですけど、今のパワーポイント3ページのその設計承認を受けた後の11月30日に委員会の承認を受けているということなんですけども自分で見るよという話なんですけどこれって、タイプ1とタイプ2どちらも同じ日に出てるってということですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:16	四国電力カツムラでございます。はい量型式とも同じ日に承認をいただいております。
0:41:24	はい。
0:41:25	ありがとうございます。
0:41:33	はい。
0:41:35	うん。
0:41:41	原子力規制庁フジモリですけど。
0:41:44	ちょっと教えてもらいたいんですが、
0:41:47	キャスクのその長期健全性のところの説明っていうのは、
0:41:52	想定されることになる。
0:41:54	ですかね。
0:42:04	四国電力のカツムラでございます長期健全性につきましては強度とあわせて2月下旬のヒアリングの場で御説明させていただこうと思っております。
0:42:18	共用計算のところにその60年間全体上だっというところが入ってるんですか。
0:42:35	別紙1本、
0:42:42	だから、
0:42:46	続きまして、
0:42:47	そう。
0:42:49	みんな。
0:42:51	四国電力のカツムラでございます。60年間の積雪期間に受ける協働も良いし無いといけないということで各構成部材が経年変化に対して照射影響とか熱影響化学的影響が
0:43:08	無いというのを説明した上で協働の方も御確認いただくと。
0:43:13	いう整理をしております。
0:43:17	工認の資料でいきますと、資料10-3の別紙の1のほうにですね。乾式貯蔵容器を構成する部材の長期健全性についてというので、資料として提出させていただいております。
0:43:39	あんまり設置許可とかは付けないし、
0:43:43	どうぞ。
0:43:45	はい。
0:43:48	タカセ
0:43:49	お願いいたします。
0:44:11	はい。
0:44:12	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:16	あと、
0:44:25	内容は一緒です。
0:44:27	朝
0:44:28	すいません四国電力の風間でございます。設置許可で御説明させていただきました経年変化。
0:44:34	に関する健全性と同一内容ではございます。また次回のヒアリングのときに、2月下旬ですね、そのときに、
0:44:43	はい、ポイントはご説明させていただきます。以上です。
0:44:50	。
0:45:04	それでは、概要の説明で、四国電力から、この後要望について補足等あればなければ、
0:45:14	1回ちょっと対し次の2部、
0:45:17	移るときに1回戻っていただけませんフジモリですけど。
0:45:21	例の
0:45:23	キャスクに異常があった場合の
0:45:28	はい
0:45:29	とかっていうのは設工認町なんか出てくるんです。
0:45:33	そのプールに持ってって、
0:45:38	修復しますっていうところは何か基本設計方針とかに入れていただいているんです。
0:45:47	閉じ込め時の以上ということで説明としては早い記載しております、それも当事会開く2月下旬ですね、そのときに御説明をさせていただきます。基本設計方針に入っている。
0:46:04	基本設計で四国電力のカツムラがございませ基本設計方針自体には書いてないですね。
0:46:14	当初名の
0:46:17	添付して、
0:46:26	あそこ、
0:46:27	はい。
0:46:30	8004 国電力のソガワベース系統異常があった際の対応といったものはですね今回の設工認申請書に後からの記載をしておりません。また運用のほうで規定する内容になるかと考えております。
0:46:47	とりあえずわかりました。
0:47:01	それって四国電力から補足等なければ海洋場方についての

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:07	ヒアリング一旦終わりました、出続けてマニングのライニングの耐震のほうに移りたいと思います。ちょっと一旦、うちも堰とか移動するのでありますね。
0:47:24	規制庁サクライです。ではこれから第 2 部の伊方の乾式貯蔵施設の設置工事に係る設計認可申請の耐震部分の説明をお願いします。
0:47:43	はい四国電力の川口でございます。
0:47:47	まずは資料の確認からさせていただいてよろしいでしょうか。はい。
0:47:54	はい資料のほうへ資料リスト載せておりますが、今回お出しするものとしての補足説明資料耐震性に関する補足説明資料としてDSF-040をお出ししています。姑息的に使うということで、松町会ということもありまして、添付資料添付資料 9 のほう、
0:48:11	これをもとに概要説明させていただきたいと思います。
0:48:16	お手元のほうへと添付資料 9 のほうを御用意をお願いします。
0:48:26	はい。
0:48:27	はい。
0:48:28	ガイドまず目次のほう、添付資料の目次のほうが大きいところを説明させていただきますと、まず資料 9-1 から 9-11 までのところで耐震設計全体の
0:48:40	基本設計方針、こういう耐震設計の方針ですよってことは基本設計方針。
0:48:45	期待しております。その次に突起とこで 9-12、こちらのほうで、使用済み燃料乾式貯蔵容器を設置する施設の耐震計算書ということで貯蔵建屋のほうへ地震応答解析とか耐震計算方法をつけております。資料 9-13 申請設備の耐震計算書ということで、こちらで乾式キャスク乾式貯蔵
0:49:05	容器の計算書で続けて、9-14 こちら波及的影響誤操作の施設の耐震計算書をつけておりますんで、9 最後 9-15 のほうで水平 2 方向野影響評価結果まだ資料 9-別紙としまして今回
0:49:21	評価に用いました解析コードについてその説明資料別紙につけております。
0:49:29	ね、それぞれの今回お出した補足説明資料も必要に応じて説明させていただくということで、ちょっとおつきいところ基本Ah資料 9-1 の耐震設計の基本方針に基づいて、今回乾式貯蔵容器、
0:49:44	この基本方針、日本の耐震設計について記載されているところを少し説明させていただきます。お手元に資料 9-1、耐震設計の基本方針のほうを御用意お願いしますがなさい。はい、はい。
0:50:05	四国電力カワグチです。わかりました。でないと資料 9-1 に基づいて説明させていただきますたいと思いますので資料 9-1 のほうを用意をお願いします。
0:50:22	はい資料 9-1、こちらの後に始め概要にも書いておりますけども地震による損傷の防止を図る設計、設計の基本方針は全体的な基本設計を記載してい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	るところでございます、今回この中でも使用済み燃料乾式貯蔵期間製キャスクに関するところ。
0:50:38	ピックアップして御説明させていただきたいと思います。
0:50:43	ではまずいと2ポツで耐震設計の基本方針というところで大きいこと大きいところ書いておまして、時放射化抜き出して書かせていただきますとに基づいて基本方針で、こちらと使用する基準地震動のことを書いておまして、詳細はこちら、
0:51:02	2ポツ1基本方針の5行目に書いておりますが、資料9-2のほうで詳細説明しておりますが設置許可を受けた基準地震動 $S_s$ と $S_s$ を考慮することとしております。
0:51:14	で、
0:51:16	ちょっと次へと(1)、(1)でこちらの設計基準対象施設のうち地震により創造性があるその安全機能が喪失転動する放射性による更正の影響の程度が特に大きいもの、及び使用済み燃料乾式貯蔵容器は、
0:51:32	その供用中に大きな影響が恐れがある地震による加速度によって作用する地震力に対してその安全機能を損なわれる恐れがないように設計するというところで、基準地震動 $S_s$ に対して、乾式貯蔵容器の設計をしますということをご書かせていただいております。
0:51:49	そこは少し下がりました(2)の最後、下から2行目でございますが、こちらのほうで使用済み燃料乾式貯蔵及びの周辺施設の設計について書かせていただいております、こちらAc河川準じて設計するものとしております。
0:52:03	(3)1ページの(3)の一番下、書いてますけど今回申請範囲の地盤の評価について、こちら詳細は資料9-3のほうで記載。
0:52:13	させていただきますが、適合した内容で設計を評価しておりますとまだ次の段落また以降で書いておりますが、今後この資料9-1の別紙
0:52:25	の方で乾式貯蔵建屋を設置する地盤については、技術基準規則第4条に適合していることを確認しているもので示しております。
0:52:34	少し飛びまして次へと括弧9-1-2ページの(6)のほうで乾式貯蔵容器と乾式貯蔵容器が設置された建物工事物構築物ということで貯蔵建屋の設計について書いております。こちらのほうは基準地震動 $S_s$ による地震力に対して、それぞれの
0:52:53	施設設備に要求される機能保持できる設計とすること、なお書きで水平2方向併直方向についても適切に設計しますよということを書いております。
0:53:05	次へとめくっていただいております。細動めくっていただいております9-1-5ページまで行きます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:17	こちら 9-1-5 ページ一番上産物で設計基準対象施設の耐震重要度分類ということで、
0:53:24	今回申請しております乾式キャスク等についても耐震重要度分類分けております。詳細は資料 9-4、設計基準対象施設の耐震重要度分の基本方針のほうに表形式でまとめておりますが、Sクラスで設計することとしております。
0:53:40	続きまして 3 ポツに波及的影響に対する考慮ということで、こちらと 3 ポツ 2-2 で使用済み燃料乾式貯蔵容器の
0:53:49	波及的影響に対する考慮について基本方針を記載しております。おつきなところを説明しました括弧で書いておりますが、三つの観点をもとに、
0:54:00	使用済み燃料乾式貯蔵容器の安全機能を損なわないことを確認しております。(7)核読ませていただきますと、一つ目が(1)設置地盤及び地震応答性状の相違と激減する不同沈下または相対変位による影響、(2)ページ 9-1-6 ページに移りまして(2)使用済み燃料乾式同様機関の相互影響、
0:54:19	(3)使用済み燃料乾式貯蔵容器と周辺施設等との相互影響で来これら方針はどう設置許可のところでも説明させていただきましたが、今回この観点で、
0:54:32	設備周辺施設等を抽出しまして、仲裁ば施設について監視指導容器に対して波及的影響を及ぼさないことを確認しております。詳細の方針につきましては、9-1 のページ一番下には書いておりますが、資料 9-5、波及的影響に係る基本方針に示してありまして、そこで抽出された。
0:54:52	設備につきましては、設備の評価結果とにつきましては 9-10-4 へ波及的影響を及ぼす恐れのある周辺施設等の耐震計算書で示しております。
0:55:04	で、
0:55:06	ページ移りまして、次は 9-1-7 ページ地へこちら 4 ぽつ設計用地震力ということで設計用地震力ばこのような地震を使いますよということを記載させていただいております。乾式貯蔵容器に関するところとしましては、9-1-8 ページ。
0:55:24	動的地震力という(2)の動的地震力で段落と言いますと 1234 段落目、
0:55:32	この中で使用済み燃料乾式貯蔵容器並びに周済み燃料乾式スズキが設置される建物構築物について基準地震動 $S_s$ 地震力を適用する旨、記載させていただいております。
0:55:43	その下の段落で書いてありますがこれらの動的ごと解析につきましては資料 9-6 地震応答解析の基本方針でまた設計を床応答曲線の作成方針につきましては資料 9-7 設計床応答曲線の作成方針のほうに詳細記載させていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:02	次の段落動的地震力については水平 2 方向及び鉛直方向について適切に組み合わせる算定して強化するというので、こちらのほうへ方針につきましては資料 9-8、水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせに関する影響評価方針。
0:56:20	書かせていただいております、その水平 2 方向野影響や評価結果につきましては 9-15、水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせに関する影響評価結果のほうで詳細をまとめさせていただきます。
0:56:35	続きまして 4 ポツに設計を地震力、こちらは上の先ほど説明しました地震力
0:56:43	に基づきまして設計用地震力を算定しております、詳細については資料 9-9 機能維持の基本方針のほうに記載しております。
0:56:53	／次、9-1-9 ページ。
0:56:58	御交通機能維持の基本方針ということでこちら耐震設計における安全機能の維持は耐震重要度分類に応じた地震動に対して、構造強度確保を基本とするというね書いております。今回どっか使用済み燃料官主導要件について、
0:57:15	下 3、次の段落記載させていただいております、先ほど概要の中でも説明しましたが使用済み燃料監視貯蔵容器の有する四つの安全機能、臨界防止機能、遮へい機能の除熱機能及び閉じ込め機能、
0:57:30	以上遮へい性及び取水機能維持できる設計と
0:57:34	しておりますね。
0:57:37	その具体少し具体的な中身につきましてまだまだちょっとページ飛びますが、9-1 の
0:57:44	12 ページ。
0:57:46	ただ、
0:57:47	かせていただいております。
0:57:51	9-1 が 12 ページの d ポツ、こちらでは使用済み燃料監視貯蔵容器並びにちよつと部分で、使用済み燃料監視貯蔵容器が設置されて建物構築物、
0:58:03	入っております、結局(エ)括弧 B ということで、基準地震動 $S_s$
0:58:09	と常時作用している荷重を組み合わせますよという、いうことを記載させていただいております。
0:58:17	はい。
0:58:19	続き、9-1-14 ページのほうで、
0:58:26	便ポツ決起配管系 D ぽつに記載のものを除く。
0:58:32	前回のここ(エ) S クラスの機器配管、
0:58:38	経緯の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	炉のほうで基準地震動Ssによる地震力との組み合わせに対する許容限界で、その許容限界をこちらに書いておりますので、また時使用済み燃料乾式貯蔵容器について特出しでかっこいい永久の1-15ページのほうに使用前年度乾式貯蔵容器の
0:58:58	許容限界書いておりまして、こちらの方が損保かっこいい使用済み燃料監視貯蔵容器、
0:59:06	については以下の通り確認するというので、密封境界弁については概ね弾性状態にとどまることをちょっと津バスケットについては臨界上有意な変形を起こさないことを確認する密封凝灰岩類については塑性ひずみが生じる場合であってもその量が
0:59:23	ちいされる留まって破断延性限界に十分な余裕を有することを確認する。
0:59:27	で記載しております。
0:59:31	続いて、次、9-1-16ページで基礎地盤の支持性能ということで、
0:59:38	で記載させていただいております、こちら括弧Asクラスの建物構築物及び機器配管系
0:59:47	哲也線と観測だからさせ括弧Bのほうですね、括弧Bのほう括弧Bのほうで、使用済み燃料監視貯蔵液が設置された建物構築物の基礎地盤、
0:59:57	ということで、上記(エ)のなので
1:00:01	屋外重要土木構造物括弧系の機器、こちらの運営の基準地震動Ssの地震力との組み合わせに対する許容限界として、接地圧が安全上適切と認められる規格及び基準等による地盤の
1:00:17	極限支持力度に対して妥当内容余裕を有することを確認する旨書かせていただいております。
1:00:24	続きまして、次5次の機能維持、同じページで機能維持、こちら(1)で使用済み燃料貯蔵容器が有する四つの安全機能を維持しますよということを書かせていただいております。
1:00:39	次9-1-17ページ、最後、6ポツの上のところ、最後のところを書かせていただいておりますけど、今御説明したような許容限界等について詳細は資料9-9機能上の基本方針に示しております。
1:00:55	永久続けて9-1-188ポツだく低利ティーに関する航路ということでこちら、
1:01:03	従前からお出ししているものとならないような字でございますが資料9の順でアクティビティに関する設計方針に詳細記載しております。できればポツ機器配管系の支持法線
1:01:16	続いて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:18	支持構造について設計しますよということで詳細のほうは、資料 9-11 機器、配管の耐震支持方針を詳細のほうに記載させていただいております。
1:01:30	ここまで脆化それぞれ耐震設計の基本方針ということになりまして、跨ぎ等具体的な
1:01:38	それぞれの建屋、キャスクの耐震計算については、建家は資料 9-10 にキャスクは 9-13 のほうで、
1:01:46	その詳細な計算方法や、
1:01:49	結果について記載させていただいております。
1:01:54	続けてまずキャスクの耐震計算の概要について説明させていただきたいと思いますが、このまま続けて大丈夫でしょうか。
1:02:06	はい。
1:02:08	では続けさせていただきますと、キャスクの耐震計算書ということで 9 の資料 9-13、お願いします。資料 9-13 のほう、枝番つけておりますが、Type I と Type II でそれぞれ計算書添付しておりますが、おっきな内容は同じなので、
1:02:27	図書館タイプ 2 のなんですよとタイプ 2 のほうでちょっと御説明させていただきます、なんで資料番号で言いました 9-13-1-1-2 のほうで、耐震計算の中身、あいつまで次内容説明させていただきたいと思います。
1:02:56	お手元御準備できましたでしょうか。
1:02:59	はい。
1:03:02	はい、では使用済み燃料乾式貯蔵液体部位の耐震計算書について概要を説明させていただきます。
1:03:09	最初概要ということでは先ほど説明したの $S_s$ に対して、設計しますよということを書いていますのでちょっとおつきい飛ばさせていただいてと概要について、下のページで 9-13-1-1-46 ページ、6 ページ目をお願いします。
1:03:25	こちらのほうで取っ耐震評価の全体的なフローを示しておりますので、まずこちらから説明させていただきたいと思います。
1:03:34	で、耐震計算の流れとしましてはまず評価用加速度を算出するために、解析モデルを設定して出してはりモデルから固有値解析キャスクの固有値解析を行っておりますので、評価用加速度を算出した後、
1:03:50	三次元要素モデルと構造公式のこの 2 種類の方法を使って地震力による応力を算出し、キャスクのそれぞれの評価部について評価を行っております。
1:04:02	それぞれの項目について説明させていただきますと最初の雇用近い席固有値解析につきまして、資料下のページ枝番の最後だけ言わせていただきますと 12 ページをお願いします。
1:04:17	12 ページ、固有値解析を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:20	行っております。今説明しますと、こうこうでしょABAQUSを使っておりますよと、実績のある解析コードを使っております。評価モデルにつきましては、次の13ページに記載しておりますが梁モデル先ほど説明ありましたはりモデルを使って、
1:04:36	説明と解析を行っております。結果につきましては、次の次のページ15ページを固有値解析結果ということで表形式の形で、
1:04:48	まとめさせていただいております。
1:04:52	で、こちらのこういう値に基づきまして評価用加速度を算出。
1:04:57	します。次応力評価のほうでございますが、下のページ17ページ、5ポツ乾式キャスク括弧タイプ2の応力評価
1:05:07	ということで応力評価方針を記載しております。最初の基本方針ということでこれまで実績がある内容でございます。
1:05:17	はい。
1:05:19	以上で先ほど説明しました応力解析につきましては三次元4でモデルを使ったものと、構造公式を使ったもの、2種類ありまして、まず三次元要素モデルのほうですが下のページの24ページ。
1:05:36	で、5ぽつ4応力評価方法ということで、辺モデルを使った評価部位と評価方法を記載しております。参事官要素モデルということで解析コードABAQUSを用いております。
1:05:52	この解析モデルは、次に15ページのほうで解析モデルを示しております。
1:05:58	順番前後しましたが評価対象部位としましては5ぽつ4ポツ1に記載しておりますが、どう。
1:06:06	から中枢性遮へい材カバーまで、これらの部位について、もちろん用いて評価しております。出続けて構造公式の労力探してございますが、26ページから26ページ5ぽつ4ポツにカバープレート及びカバープレートVということで、最初、
1:06:25	これつけておりますがそれぞれの評価類について、荷重条件であったり応力計算の計算式その下に書いております計算式、また次の次のページ、27ページに象限、
1:06:39	それから27ページ。
1:06:41	民集7ページと、
1:06:47	帰国38ページ緒元つけておりまして
1:06:52	これらの公式を用いて応力を算出しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:59	ここまでが構造強度評価でございまして、次機能維持評価につきましては41ページ、6ポツ、乾式キャスクタイプAの機能維持評価ということで、機能維持評価、こちらも先ほどの構造信用力させと同じように評価部位評価方法
1:07:19	あと、それに基づく
1:07:21	諸元を整理国庫から記載させていただいております。
1:07:30	今までの前と乾式貯蔵キャスク本体の評価でございまして、次貯蔵架台のほうを下のページ52ページから
1:07:42	記載しております。7ぽつと貯蔵が大タイプ2の応力評価ということで、
1:07:47	荷重の組み合わせ荷重
1:07:51	許容力であったり、あと、応力算出方法計算式等について記載してお示しておりますのでこれらをもとに評価したその応力評価結果については、61ページ、8ポツ評価結果、
1:08:07	それから、
1:08:08	一覧表の形で、資料9分の1から9分の9まで記載させていただいております。
1:08:16	はい。
1:08:22	青枠でございますけどもこれこれこれこういうような後期構造でかんし今日貯蔵大きい耐震計算書をお示しておりますので、今タイプに説明させていただきましたがType Iにつきましても同じ構成となっております。
1:08:45	回数でタイプ2の計算生じて1点だけ酸素の認識していただきたいところがございます、下のページ、69ページをお願いします。
1:08:58	69ページのところで、こちらちょっと抵当二次ボルトとカバープレートボルトの疲労評価結果、こちらちょっと等発生時の数値のほうがちよっと逆呈しておりますのでちよっと申し訳ないですけどこちらへ逆転するということをご認識いただければと思います。今後し、
1:09:16	適正化していきたいと考えております。
1:09:19	はい。
1:09:21	以上です。
1:09:24	具体的なところを説明させていただきましたように自分たボルトの疲労評価発生値が今0.004にカバープレートと疲労評価が0.008年になって記載になってますが、正確にはこれ反対でございましたように自分たボルトの疲労評価の発生値が0.0087。
1:09:43	カバープレートとボルトの疲労評価のほう、定点で入れよう2でございます。
1:09:52	ちよっと、
1:09:53	以上で乾式貯蔵容器の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:56	計算書の概要について説明を終わらせていただきます。よろしければ続いたと。
1:10:01	建屋等についての概要説明に移らさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
1:10:08	はい、お願いします。
1:10:11	説明者かわります四国電力の坂本でございます。では続きまして建家の耐震計算関係の御説明を概要の御説明をさせていただきたいと思います。建家関係の耐震計算資料といたしましては、別途、まず資料 9-12-1。
1:10:28	こちら側の使用済み燃料乾式貯蔵建屋の地震応答解析の資料化等、さらに資料 9-12-2、建家の耐震計算書、こちらの間接支持構造物としての基礎計算書でございます。
1:10:41	加えまして資料 14-2 正味の乾式貯蔵建屋上屋の耐震計算書、こちらの波及的影響評価として評価部位と説明された建屋上屋の耐震計算を示しているものでございます。こちらの三つの資料について概要を御説明させていただきたいと思います。
1:11:00	まず長寿大きな前提といたしましてこれらの資料につきましてはこれまでの認可実績のある手法を使って評価を行ってございます。
1:11:10	まずは伊藤地震応答解析資料 9-12-1 からご説明させていただきさせていただきたいというふうに思っております。
1:11:23	説明におけます川崎と申しました通り認可実績のあるやり方を用いておりますのでともモデル化の方法等のところを重点的に説明させていただきたいというふうに思っております。
1:11:38	資料 9-12-1 で仕事かについての資料のページ番号 2 ページ目をお願いします。
1:11:46	こちらの乾式建屋の設置位置を示している図でございまして当中央やや下の辺りに灰色でハッチングしてところが建屋の位置でございます EL25m 盤に設置してございます。する計画でございます。
1:12:03	資料めくっていただきまして 4 ページをお願いします。
1:12:09	こちらがいえる 25.3m におけるウェット建屋の平面図でございまして、向かって右側のほうに貯蔵エリア向かって左側に取扱エリアがございましてこの右側のエリアにちょっと溶かしキャスクを保管する計画としてございます。
1:12:26	建物の構造としましては鉄筋コンクリート造の構造物でございまして時装荷して直接岩盤に支持される構造部してございます。
1:12:36	めくっていただきまして 5 ページ目、こちら側といえる 37m 位置での平面図、貯蔵エリアの屋根が見えている状態の図でございます。次のページいって

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ただきまして 6 ページ、こちらが取扱エリア側の屋根が見えてるレベルの 44.9 mの平面図でございます。
1:12:55	続いて 7 ページをお願いします。
1:12:58	こちらが端面概略の断面図でございます、貯蔵エリアを東西方向に切った断面を示しております。増前半の全体概要説明の中でも説明ありましたが、下層部分の側壁に 9、
1:13:17	時空気取り入れのための吸気孔がありましてそれが建屋中央部上部の配置校の方から換気されるという構造の建物でございます。
1:13:26	めくっていただきまして 8 ページ、こちらが取扱エリアの絵と東西方向に切った断面図でございます。
1:13:35	進んでいただきまして 9 ページ、最後のソガワ南北方向建屋中心位置の南北方向に切ったえつと断面図でございます概ねこのような構造材よというふうになっております。
1:13:49	で、資料飛んでいただいて進んでいただきまして、16 ページをお願いいたします。
1:13:56	時実際の事故解析モデル図を使ってご説明させていただきます。受振をどう解析では、これまでの実績ある失点系モデルを用いておりますとええと水平方向と鉛直方向それぞれ別々のモデルで地震応答解析を
1:14:14	行っております。時の解析のモデル化におきましては地盤として地盤との相互作用を考慮して基礎底面に地盤ばねを設けた失点系の曲げせん断別塀については曲げせん断モデルをしておりますと都市核種いっぺんには回転慣性をそれぞれ絵と考慮したモデルとしております。
1:14:33	別途地盤ばねにつきましては、須恵水平方向のモデルでは水平ばね及び回転ばねを考慮しております、人弱に基づきまして基礎底面の 2 層地盤に対して清掃補正により算出した地盤定数を用いて、
1:14:48	診断士の一旦整合による動的地盤ばねを近似してと地盤バネを設定しております。
1:14:55	例とさらに上部構造物の復元力特性としましては耐震化を含む特性として曲げと剪断についてJABのスケルトン及び履歴特性を考慮してございます。あと地盤につきましても、基礎浮き上がりの幾何学的引け 1000 ケース。
1:15:11	成果考慮できる回転ばねとして先月を考慮しています。
1:15:16	ページ進んでいただきまして次のページ 17 ページ以降に具体的な建家モデルの諸元がございますが、ちょっと割愛しまして 18 ページをお願いします。
1:15:30	18 ページか、これ基礎底面地盤マネーの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:36	物性設定に用い度合いと地盤の条数を記載しておりまして先ほど申しました通り、二相の地盤に対して清掃補正をしてモデル化しております。具体的に申しますと、この表の上段と申しますか、それと21から12と書いているところで、
1:15:53	Vs値 1712mよりも深い部分で 2700、これらの地盤をもとに地盤ばねの設定をしています。
1:16:05	で、19 ページをお願いします。
1:16:10	19 ページで具体的な地盤ばねの設定値バネ上層記載しておりまして今日増大が水平ばね下段が会見まんねやそれぞればね乗数と。減数係数をEWNS 方向ごとに記載しております。
1:16:25	その下には金利番目の近隣の概念がありますがこれ契約でやられてる方法と同様の図でございます。
1:16:34	すいませんページ進めだけまして 20 ページをお願いします。
1:16:39	20 ページ側へと鉛直方向の地震応答解析モデル図でございまして先ほどの水平方向のモデルとの違いとしましては、質量等は同じなんですけど、統合性として鉛直方向の軸剛性を考慮しているということと、あと、
1:16:55	あと基礎底面に水辺改定ものではなくて鉛直ばねがついてということが主な違いでございます。バネの設定につきましては先ほどの絵と同様に二相地盤を成層補正して設定していると。
1:17:10	というような条件で解析しております。聴ページ進んでいただきまして、今まで御説明しいたしましたが、モデルの説明でございますが、22 ページ以降で建家に入力する入力地震動の算定について記載しておりますのでこちらを説明させていただきます。
1:17:28	飛ばせていただきまして 24 ページをお願いします。
1:17:34	今回の地震応答加速度入力地震動のこれらの設定の概念図を記載しておりまして、と大きく二つの解析をやって各建屋基礎底面位置での入力値の算定しております。その向かって左側、
1:17:49	まず伊方発電所の解放基盤言う 10mで定義される基準で振動Ssを一度土地かマイナス 200 メートルまで引き下げますこちらの解析につきましては一次元の解析でまず引き下げを行います。
1:18:07	で、その後向かって右側のほうに移りまして、そのELマイナス 100m位置での波を今度はねと二次元のFEMモデルに入力をして二次元モデルに寄って立ち上げを行います、基礎底面位置の入力地震動を作成しております。
1:18:26	具体的な手帳モデル数が次のページ 25 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:32	こちらはその二次元の立ち上げのモデル図でございまして 25 ページがEWを後段断面のモデルでございまして。上段があったモデル全体でございまして、下段がいいと、点線の範囲を拡大したものでございまして。
1:18:48	と二次元のモデルとしましては、鉄塔じっくり地盤の物性値のグラデーションだったり、あとへと地盤の形状等を精緻に取り込んだ、モデルとして、二次元の解析を行っております。当モデルの協会としては側面にエネルギー伝達境界、あと点
1:19:08	いうふうに粘性境界を設けて受振劣っ解析を行っております。
1:19:14	26 ページがNS方向の断面でだめ課長だけで、解析方法は同様でございまして。
1:19:21	27 ページ以降に実際にすると先ほど御説明しました方法によって解析をした映像入力地震動の図が 28 ページ以降と続きますが、説明は割愛させていただきますの時刻歴はけが続きます。
1:19:40	それと入力地震の説明としましては、以上でございまして、53 ページ以降で復元力特性の説明を記載しております。こちらにもジェイ枠に基づく設定をございまして、53 ページでは剪断
1:19:59	トーセのひずみ関係、せん断の河川のひずみ関係の都市計画道路の設定方法を取りに阿多のスケルトンカーブとしております。54 ページは、そのせん断の履歴特性を絵の設定を記載させていただいております最大点指向型のモデルとしております。
1:20:17	経営 55 ページをお願いします。ここからが曲げでございましてリニア型のスケルトンは 56 ページに陸沿って特性としてしましてはおりウェイティングとリニア型モデルを採用して地震応答解析のほかの府特性としております。
1:20:35	時 58 ページ以降に好きせん断スケルトンカーブの設定値が続きますが、省略割愛させていただきますまして、あと 60 ページ。
1:20:47	地盤の改訂前についても浮き上がりの非線形計画的な非線形性を考慮する回転ばねとしてございまして、こちらにも契約に基づく浮き上がりの非線形を考慮しております浮上がり大きい場合に、線形を考慮できるようなモデルとなっております。
1:21:03	61 ページをお願いします。
1:21:07	時初動解析におきましては、これまでの審査の実績を踏まえまして各種の物性のばらつきを考慮して解析を行っております。
1:21:19	具体的に言いますと、一番の合成のばらつきプラスとマイナスのばらつきを考慮し、しているのと、あと減衰乗数につきましては 3%の解析も行っておりますこれ従来通りでございまして。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:35	62 ページ以降で固有値解析等へと各種応答解析結果の一つ表が続きますが説明は通し省略させていただきます。
1:21:46	建物の地震応答解析につきましては、説明以上でございます。悦夫。
1:21:52	来れましょうか、そのまま
1:21:54	既存の計算書のほうを説明しましょう。どちらがよろしいでしょうか。
1:22:04	すみません。
1:22:06	お願いします。
1:22:08	規制庁井上です。
1:22:13	聞こえます。
1:22:15	16 ページ。
1:22:17	はい。
1:22:20	それに基づいて、
1:22:29	四国電力の坂本でございます。今回は側面の絵と埋め込みまでのことだと思いますが、今回は埋め込みの影響は考慮しません。続きといいますと、例えば 7 ページ。
1:22:46	これらの断面図でございますが今回基礎の部分につきましては一部地面に埋め込まれているところはあるんですけど、それも上の部分については一切埋め込まれていない構造物でございますのでということと、
1:23:10	20 例えば 25 ページをお願いします。
1:23:15	はい。
1:23:15	これ二次元の解析モデルでの地盤も含めた断面図なんですけど、25 ページの下段の総拡大図のほうで見ていただくと、例えばその向かって左側の部分で埋め込まれてるんですけども、豊子性
1:23:33	次に方向に続くへと地盤というのは土地でもすぐ切れるようなものであったりしますので、埋め込むの影響を小さいというふうに判断して、埋め込みは所今回考慮していないモデル化を行っております。
1:23:46	規制庁井上です。了解しました。
1:23:49	20 ページ。
1:23:52	事件のホテルおります。
1:23:55	そう結構傾斜してるんですけども、
1:23:58	メンバー計算で清掃のかっていう
1:24:03	を使っているということで、
1:24:05	大丈夫でしょうか。
1:24:15	すみません申し訳ございません聞き取れなかったらもう一度お願いします。
1:24:21	ページの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:23	何ページですけど、はっきりしていますけれども、
1:24:27	まで底面地盤ばねの計算で、
1:24:31	製造過程した地盤ばね。
1:24:35	はい。
1:24:38	四国電力の坂本でございます。今回の設置位置の地盤の投資性状といいま すか経常だったり物性値っていうのはご指摘の通りだと思います。耐専そのへ とJRで規定されている絵と適用範囲というの満足して、
1:24:57	いるので適用できるというふうに考えております。
1:25:01	はい。
1:25:04	それから 25 ページの図でぴあのところは、
1:25:08	何も無いものとした解析、
1:25:11	よろしいですか。
1:25:13	ご認識の通りでございます建屋部分は何もない状態での解析でございます。
1:25:18	はい。
1:25:20	以上です。
1:25:23	規制庁もんですが、一つ教えてください。メリアンの浮き上がりを考慮したモデ ルにしているところなんですが、浮き上がりどれくらい発生してるんでしょう。
1:25:36	はい、四国電力の坂本でございます。ご指摘の部分が同じ資料の 85 ページ をお願いします。
1:25:51	これが地震の波ごとの設置率を記載しているところなんですけども、例えば一 番上スワンだと 89%程度で、下のほうで一番急が違い切斷' というところで 87%程度。
1:26:08	これはEW方向の断面でございまして、8 次のページで 86 ページ、これNS方 向ですが、
1:26:15	NS方向でも 91%程度の解析結果としてはこのような状況でございます。あり がとうございます。
1:26:39	はい。
1:26:40	これまだ結果ホリグチであって、
1:26:44	はい、聞こえます。
1:26:49	個別取引昨年
1:26:52	皆様から
1:26:55	込みの影響を考慮しない話で、20 ページのところ、
1:27:01	斜面からの管理うかがわないうことながらですが、
1:27:06	NS早く元の逆やはり一方向固めが解放だから、
1:27:13	そこで散歩教育待ってるわけじゃないかとそういうことで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:20	すみません。申し訳ございません。ちょっとよく聞き取りづらかったらもう一度お願いします。はい。お話出た時 15 ページで値上げがあるって、
1:27:30	ための方向は斜面があってパターンを考えてきたと。
1:27:35	連絡観光も
1:27:37	介護だからってということで、CVぐると埋め込みでないのっていうのがおっしゃったんですね、さっき、
1:27:44	はい。保守後ご認識の通りでございます。NS方向につきましてもへと向かって右側と申しますか等の状況も勘案の 2 まして、
1:27:55	側面ばねをつけない設定としております。
1:28:01	なのですが、そこはどうしても決定。
1:28:05	一旦、建屋に工学的にただけない話で今今けどそこは含めがあって、
1:28:12	今戻してるんですかね。
1:28:19	もし、
1:28:21	四国電力サカモトでございます。もしご認識の通り埋戻動でございますが、てるわけですね。はい。
1:28:28	若干、
1:28:34	うん。
1:28:36	ほとんどでも私はなくても交換ですから建家の形で放り込んで若干空いた所名簿としてるんだけど。
1:28:47	ご認識の通りでございます。
1:28:49	地下水がどこに設定する。
1:28:55	時地下水ですか。
1:29:06	少なくとも建家にわからないもと深い位置であるという状況でございますが、改めてですけど
1:29:13	本体でせっかくやっている排水設備は設けてないですよこんな赤字、
1:29:20	避難状態ねと。
1:29:22	強制的にコントロールしてはないですよ。
1:29:26	そういうものは考えてません。
1:29:29	今もいっぱいある近づいた立てるに離れたところで、ただ迷わずピックアップをかけて、
1:29:38	はいご認識の通りでいいかわかりませんが浮き上がりとかそういった水圧による荷重はかからない状態です。しかしが低いからねということで、はいはいはいそうですねはい承知しました。
1:29:49	どこかのスタッフ規制庁なんですけど、どこかの資料に使う水の設定の資料ってあります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:07	確認をしますが、ない可能性があるのでは、どの位置にあるのかを説明したほうがいいということですね。ECTと一緒にあるだろうと
1:30:21	補足説明資料、
1:30:23	ですかね。
1:30:27	はい。
1:30:30	すみませんちょっと今の中で、どこの中でちょっと話し合っ、
1:30:35	そうします。
1:30:41	地盤での
1:30:42	そうですね。年間訓練だ。
1:30:48	一番
1:30:49	とりあえず安心性を書いてあるか、確認して教えてください。
1:30:58	拝承しました。
1:31:01	ですけれども、さっきの埋め込みの話とか、
1:31:05	パネルの妥当性がどっかに
1:31:09	書き込んでおいていただけますか、説明していただいたことで結構です。
1:31:20	処理。
1:31:21	四国電力サカモトでございます。先ほど口頭で御説明しました内容を何かの資料に記載しておいて欲しいということでもよろしかったでしょうか。
1:31:32	どうぞ。
1:31:37	わかりました補足資料等で
1:31:42	口頭で申しましたようなバネの設定に係る内容を記載して御説明させていただこうと思います。
1:31:50	はい。
1:32:00	またプレハブで以上で、
1:32:02	はい。
1:32:08	テイツー、
1:32:10	回答では引き続きまして、耐震計算書のほうの説明をさせていただきたいというふうに思います。
1:32:18	資料としましては資料 9-12-2 をよろしく申し上げます。
1:32:29	資料 12-9-12-2、助勢大詰めの乾式貯蔵建屋の耐震計算書についてご説明いたします。
1:32:37	こちらの資料は乾式キャスクの間接支持構造物である建家基礎の耐震計算結果を示しているものでございます。
1:32:48	岡田につきましても、モデルの概要を中心に説明させていただきたいというふうに思います。資料飛ばしていただきまして、25 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:05	資料 25 ページでまず上段のAが建屋全体を示したやっモデルゾーンで、下段がいえる 31mで切った、同じモデルを切った、時その鳥瞰図でございます。
1:33:22	今回の体制基礎の耐震評価では、応力解析による評価を行っておりまして、登録解析の三次元FEMモデルを用いた弾性応力解析により行っております。と解析モデルにつきましては、その図に記載している通り、建屋の上部構造物
1:33:40	評価対象であります基礎をすべて含めた建家全体モデルによる上と応力解析を行っております。投資をする要素つけましては、屋根床壁、基礎について面材として攻め要素でモデル化しております。
1:33:56	次のページ 26 ページをお願いします。
1:34:03	そのモデルの境界条件について御説明いたします。
1:34:07	境界条件としましては、時その底面に地盤からのと反力が再現できるような地盤ばねを設けておりまして、それを境界条件というふうにしております。26 ページAポツ、Ss地震時というふうに書いておりますが、
1:34:25	と鉛直方向の地盤反力係数等へと水平方向の地盤反力係数をそれぞれ算出しまして、と基礎底面の支払い面積に応じて前ております。当地盤までの設定につきましては、さっき手ほどのことでした。また違う応答解析モデルと同様に振動モードみたんすにより接
1:34:45	下の前とされまして、それを平面的に三次元的にばらまいているというのが帳の設定方法でございます。
1:34:54	ページめくっていただきまして、27 ページ、今回、先ほどSs地震であります。が上手については物性を変えたバネを設定しておりまして統制的な地盤物性を考慮してサンスター先ほど同様の方法であれを設定して、
1:35:14	と三次元モデルの設定目に設置して努力解析を行っております。すいませんそれと説明 26 ページですね。向けてしまったんですけど、地震時の場合の設定としましては浮上がりが生じている部分につきましては、
1:35:30	反力を生じないような浮き上がりが交流できるような解析を行っております。浮き上がりの非線形性を考慮した。
1:35:38	解析を行っております。
1:35:41	28 ページ、今後の物性等あります。フカワちょっと割愛しまして、2、
1:35:48	29 ページをお願いします。
1:35:52	モデルにつきましては、先ほどまでの通りなんですけど、ちょっとそれによるする荷重について簡単に御説明させていただきたいと思っております。29 ページで 10 日 10 ケースについて、記号とともに説明を書いているんですけど、GTと書いてあるところで固定積載荷重、あと、申請の長期キャスク以下経理

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:12	書いてるところで生成自身での圧力が矩体の慣性力でございます。その親しいSで書いているものがあとで新人のキャスクからの反力を、これらの親も親も含めました。建物に作用する地震力をすべて採用させて、
1:36:30	32モデルによるへと応力解析を行っております。5カ年の組み合わせとしましては、30ページのほうで記載しております、先ほどご説明しました荷重を組み合わせ係数法1対0.4の組み合わせ係数法ね。
1:36:48	すべての方向について等考慮して受振で16係数常時1係数の応力解析を行っております。これ従来通りの組み合わせでございます。
1:36:59	31ページ、それぞれの荷重の具体的な入力方法を記載されますが先ほどご説明しましたような荷重をそれぞれのFEM要素の設定にばらまいておる解析を行っているということでございます。
1:37:14	実機で33ページ以降で、実際の地震力の表がありますが説明割愛しますこちらは地震応答解析で説明した等々値を用いてそれらをすべて包絡のばらつきも含めて包絡した地震力を設定して、
1:37:32	今回の加振行っているということのスツ実際の数値を記載しております。
1:37:38	338ページをお願いします。断面の評価方法でございます。それと先ほど御説明しました応力解析で算出した応力を持ちまして、その能力で断面の評価を行っております。
1:37:53	評価に使った基準としましてはRC規準ポンプ参照しております、両括弧1でごとと軸力と曲げモーメント訓練内せん断力による等必要鉄筋量を算出するというをまず大きな一つ目としてやっております。
1:38:10	その次のページ39ページ、こちらでもう一つの評価としまして面外せん断の評価、こちらRC基準に基づきまして、別途面外せん断力の確認をしております。
1:38:27	40ページをお願いします。40ページ以降が、辻さんの評価結果でございます、まず40ページでは低と接地圧に関する評価結果を示しております。
1:38:42	こちらのほうにつきましては、応力算定現応力解析モデルではなくて失点系モデルの土地を用いて接地圧の評価をしております。下段551表がSs地震時の評価結果でございますが、これに対して十分余裕ある結果というふうになってます。
1:39:02	その下段常時につきましても同様でございます。
1:39:06	規定40ページ以降が三次元FEMモデルによる解析結果を記載している部分ですが結果の表についてご説明します45ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:19	先ほど閉鎖工面しました各評価基準、それをイノウエ崩壊熱方向それぞれAと検討した結果のと検定値を発生値に対する許容値の日ですね、を記載しておりますが一番大きいところでも0.
1:39:36	68 程度の結果となっております。はい、集め常時ですが、常時につきましても0.2/3 程度の結果となっております。当期その経産省につきましては以上です。
1:40:05	ではちょっとすいません続けて計3章について御説明させていただきたいというふうに思います。ちょっと資料は9.9-14、
1:40:17	これはいすいませんお願いします。
1:40:27	そう。
1:40:29	イノウエ
1:40:33	もう
1:40:42	このしたか。
1:40:44	DFっていう、すみません、もう一度お願いします。
1:40:48	資料は今後提出されてそれを
1:40:50	される単位って、
1:40:55	建家の耐震計算に係る補足説明資料はすでに提出済みでございます、
1:41:03	本日の
1:41:05	補足説明資料番号で言いますと、DSF4040 というのが、
1:41:12	対応する資料でございます。
1:41:16	規制庁井上ですけども。これ質問はまた別の機会が行ってよろしいですか。
1:41:22	それとも、具体的な質問等あれば、
1:41:26	都市質問いただければと思います。はい。
1:41:32	各説明資料の
1:41:36	2-2-20 ページ。
1:41:47	はい。
1:41:50	はい、開きました。
1:41:52	そこで基礎EW方向に書いてあるので。
1:41:56	これEW方向の発生応力のコンターだと思っんですけれども、
1:42:01	10 組み合わせケースNo.8、
1:42:04	というのは、
1:42:06	閉塞の火力なんです、
1:42:10	このE-6 図の下の図を見ると、
1:42:14	EW方向非対称の結果が出てるんですが、これはなぜでしょうか。
1:42:22	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:25	はい。
1:42:44	僕も等ですね、
1:42:50	通したご指摘の図の下側の部分惜しい過去面内せん断力のコンターが向かって上のほうと下のほうで色が違うということの御指摘でしょうか。はい。
1:43:08	凝縮器ご認識の通り、発注荷重の組み合わせケース 8 は、エムスNS方向の火力でもあります。さらにどう
1:43:22	N方向から走向にそこの加力と申しますか、
1:43:27	なんて言うんですかね。たった、これちょっとよく分析しないといけないんですけど、当面内方向のせん断力なので。ですから変形の方としては、そういうNS方向に押されて真ん中のほうが
1:43:43	変形しているものに対して左右対称の変形になっているそのせん断変形報告が違ふんじゃないかというふうに思いますがちょっと分析が必要と思いますので、改めて回答させていただいてもよろしいでしょうか。はい、お願いします。
1:44:00	このコンターがこうなっている理由を説明させていただいていただきたいと思えます。
1:44:08	はい。
1:44:09	懸案ですね。
1:44:10	この前の資料で申し訳ないんですが、
1:44:14	資料 9-12-1-16 ページ。
1:44:18	評価基準、
1:44:21	はい。
1:44:22	計画
1:44:26	モデル。
1:44:33	すいませんたびたび申し訳ございませんもう一度お願いします。
1:44:39	資料 9-12-1-16 ページ
1:44:44	配信応答解析モデル水平方向、
1:44:47	はい、知ってんの高さが 12345 とありますけども、この場所はどうやって決めたか教えていただきます。
1:44:57	わかりましたえーとですね。
1:45:01	ちょっと、
1:45:04	例えば、その資料 9-12-1-8 ページ。
1:45:11	はい。
1:45:13	お願いします。この 8 ページで建家の上回っておりますが一番高いところの平面レベルっていうのが 44.9m、
1:45:25	先ほどのモデル図の時卵膜 1、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:30	に対応します。その下の 40.90 をこの図、ごめんなさい、8 ページの図の向かって右側のほうといいますか、取りユーティリティエリアというエリアの床レベルがこれは 40.9m でございまして、こちらで、
1:45:47	基準化しているとかモデル化をしています。
1:45:51	その他の視点も③37.1 というのも、同じくそのいうユーティリティエリアというか分の 37.1m の床レベルでモデル化しております。続きましても④34.26、こちらにつきましては、
1:46:09	えっとですね、7 ページ。
1:46:14	何なんていうんですかね貯蔵エリアの
1:46:18	真ん中辺りにある当中央通路の真ん中辺りにある床レベルこうまとめのところに売っここにも床がいるんですけど、その床レベルの方へと作業しております。5/5 番線番号⑤
1:46:34	をいうと 31.30 につきましては、先ほど、もともとの絵と 8 ページの図のリテールや床レベルで最後は時その部分でございましてというようにモデル化するにあたって、
1:46:50	有効とか面積の大きい床がある部分を、それぞれの出典でモデル化しているというようなモデル化しております。
1:47:01	はい、わかりました。
1:47:05	この④の視点
1:47:08	あんまり
1:47:10	壁。
1:47:12	壁があまりないところですけど、この辺の
1:47:17	閉情報。
1:47:19	剛性っていうのは、
1:47:23	はい。
1:47:24	でしょ。
1:47:28	床の剛性ですか。
1:47:34	④の試験この断面では宙に浮いてるように見えて実際はどっかで
1:47:43	これが搭乗ゲートの条件の確保がありますかとその④設定の下のA棟受四角の 4 といつか 4 部材の剛性につきましては、通すなんていうかね。例えばなる R-7 ページの図で言うと、
1:48:01	その床自体を支えている壁ではなくてそさらに外側の壁といつか、
1:48:06	こういうところの層の剛性も考慮されているのでいいしますので失点系モデルですのので一つの棒にモデル化する関係から、平面的に切ったレベルで考慮できる壁。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:22	がある場合はそれをすべて考慮しているというような状況でございます。
1:48:27	層としての剛性として考慮するということです。はい、わかりました。
1:48:32	以上です。
1:48:41	もうよ。
1:48:43	はい。
1:48:44	じゃあ、ご覧の願います説明します。
1:48:48	はい。
1:48:49	では続きまして、ちょっと資料 14-2。
1:48:56	ちょっと使用済み燃料乾式貯蔵建屋加工屋の耐震計算書について内容を御説明いたします。こちらにつきましては、こちらの計算書、まず資料 14 シリーズは、波及的影響評価、
1:49:11	及び施設の耐震計算についてまとめているものでございまして、資料 14-2 は、その上流側の文章と嫁さん資料 9-14-1 の方針説明の部分で
1:49:28	Act減益省の評価をするべき施設として抽出された上屋の計算書でございますので、この抽出の考え方につきましては資料 14-1 のほうに記載されておりまして、ここから説明したほうがよろしいでしょうか。
1:49:48	ごめんなさい。当室、14-1 のさらに条例ですねこのサイト資料 9-5 ですね、波及的影響に係る基本方針というところで評価対象施設を抽出しておりましてその結果出てきた提案について、14-2 で計算結果を示している関係なんですけど、その波及的影響の評価対象の中で、
1:50:08	続いて、それから説明したほうがよろしいでしょうか、それとも、
1:50:12	建屋の計算の部分だけの説明でよろしいでしょうか。
1:50:17	炉心有効長さ、
1:50:19	特定のリックス
1:50:25	お願いします。
1:50:28	関係の御じゃなくて、
1:50:30	わかりました計算書のほうで結構でございます。ちなみになん抽出の考え方につきましては、まあ言うところこれまでの実績のある考え方で施設を抽出してその建屋の我々の残ってきているというものでございます。建家の計算書を計算書についてご説明いたします。
1:50:47	構造等については先ほど御説明しました通りなので割愛させていただきまして資料、ページ番号で 11 ページ。
1:50:57	お願いします。
1:51:04	こちらで関係非常に簡単な評価フローを書いているんですけど、今回あのを評価につきましては、と地震応答解析による評価ということで失点系モデルの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	応答値を用いてトウソウ崩壊でないことの確認をしています。具体的にはせん断ひずみの評価というものを行いまして、
1:51:24	これに対して余裕があることを確認しているというものでございますねえと核種ばらつきを考慮して検討を行っております。
1:51:32	具体的なその許容限界の考え方が 15 ページに記載しておりますが、
1:51:43	許容限界を求めてるこれあの表でございませと一番向かって右側のところで最大せん断ひずみ 4000 マイクロへこちらを評価クライテリアとしまして、耐専壁が塗装崩壊に至らないということを確認してへと波及的影響を及ぼさないことの確認というふうにしております。
1:52:02	本当に 4000 マイクロのえっと国内での設定等につきましては、と伊方 3 号であれば、再稼働工認におけるイチゴ OS 等の波及の評価で実績のある数値となっております。
1:52:16	めくっていただきまして 17 ページをお願いします。
1:52:22	17 ページ以降に各ばらつきごと、各方向ごとに実際の応答値を PRA プロットしておりますが、クライテリアが 4000 マイクロに対しまして十分小さな値、第 1 折点にも至らないような等々結果となっております。
1:52:40	以降抵当土地が続きますけど、すすめて大丈夫でに至らないような解析結果になっております。
1:52:49	なので十分余裕がある結果となっております。
1:52:53	かなりございますが、資料 14-2 につきまして説明を終わります。
1:53:07	規制庁ばこの乾式貯蔵建屋各国和訳という言い方って多分初めて使う×田んぼですよ。
1:53:22	来の表記の話でしょうか。
1:53:27	買っていくといったときに、あれですか。壁とかまさに建物の基礎一体星君が言ってやりますってということで、
1:53:38	気相部生かすためにはやっというふうに書いてあるってということでよろしいですか。
1:53:44	ご認識の通りでございます。あと、なお他社の申請資料における記載方針等も横目で見ながら、こういう名前を設定しております。
1:53:56	朝
1:53:57	それは新設ではないんですが、既設の他社ですねということですね。
1:54:05	今、ちょっと玄海のほうの水産設定設置許可の本審査やっというて、基礎オオノ芸評議についてですねちょっと論点になってまして。
1:54:21	今回の要求の直す設置許可の解釈の別記 4 では 1 億総メインに。
1:54:31	40 がされていて、販権的には建屋アート建屋として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:38	派遣営業サイドを含みするように要求されているんですけども、
1:54:46	ちょっと普通の一般の設置許可のときとは違ってですね、来そうですね分けて要求していると。
1:54:56	有地解釈があるので、この書き方ばですね。
1:55:03	基礎建屋をですねちょっと分離しなきゃいけないかもしれないですよ。
1:55:08	ちょっと今まだ、こちら整理中ではあるんですけど。
1:55:15	決定後ですねそこについてはですね、こちらからも
1:55:20	その基礎と起案とかですね説明させていただくことになると思います。
1:55:26	一つ、
1:55:28	はい。ちょっと
1:55:32	四国電力の坂本でございます。今回我々の今回申請時点での名称の考え方としましては、資料 12-2 で使用済み燃料乾式貯蔵建屋建家の耐震計算書、ここの部分で
1:55:48	基礎の評価をしている講義資料名称で基礎の評価をしているとでは旧のほうでは、自然の乾式貯蔵建屋のうち、主屋の評価を示す必要があるので、括弧そのうちの上屋だという宣言をしているという位置からの
1:56:05	今回の申請の考え方はそのような考え方なんですけど、なので分けているというふうにも考えられるかなと思うんですけど。
1:56:14	というそういうレベルの話ではなくてですか。ですね、
1:56:19	ちょっとですね今こちらでも整理している途中なんで、もしかしたらこの書き方といいかもしれないんですが、そこについては、ちょっと整理した上でですね、こちらからまた説明させていただきます。
1:56:33	はい。承知しました。わかりました。
1:56:46	とりあえず津波が
1:56:50	規制庁配備数約
1:56:53	しゃべってちょっと一つお聞きします。それから建屋査定機能があるんですが、なんてこれ基準地震動が降ると、今回初めて研究では記述して 4000 マイクロなんですけれども、デジタルでと
1:57:08	我が社は小さいんですが一応ピークとしては 4000 万ですけど、4 だとコンペひび割れて、
1:57:16	完璧なものでできないのかなと思ってるのでその辺の考えですね、伊方のこの建屋は基準地震動を受けても、引き続き放射性機能はあるとするのか、それとも、
1:57:29	たくてやって壊れちゃっても話があるじゃないですか。つまりによっても、どの部分で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:35	やはり手当残ってやるっていう話があるんですけども。
1:57:39	これ伊方のピアどういうふう考えたら社会の基準地震動を受けたときに茶色の考え方はどんなふう考えてないんですか。
1:57:50	四国電力の坂本でございます。ですね、例えば、その遮へい要求がSクラス遮へいの要求であるような場合に備え、すなわち言い方で申しますと外周コンクリート壁がまさにそれに当たると思うんですけど、そういったもの場合は、ご指摘の通り、と4000マイクロではなくて、
1:58:10	2000マイクロをクライテリアにへと評価を行うということを過去の新設でやっておりますので、今回につきましては、まずそもそも2000マイクロというクライテリアで考えたとしても十分小さいというのがまず考えの結果から入れるということと、
1:58:26	えっと遮へい要求はSクラス遮へい要求ではなくて、Cクラス遮へいの要求であるとか、とこういうことも踏まえた上で今回の評価としては4000マイクロ
1:58:39	というふうに設定をしている状態でございます。
1:58:43	はい。
1:58:44	はい。ですから2000だとかですけど、別に遮へい体ということで、4000であそこは言えない仕事ですけども、そうするとなる等では100円についてはどう考えたら、
1:58:59	例えば建築客建屋については別個壊れるのは駄目っていただけなくて、
1:59:06	どのないだろう。他の手当てもいいということがあるんですか、そちらですっていうことでしょうか。
1:59:13	建屋に期待して、
1:59:17	ほかの滑り面を考えて、
1:59:19	査定するってそういうことでしょうか。
1:59:22	四国電力の坂本でございます壊れてもいいとかそういうものではないというふうに考えてますね。ちなみにこれホリケ通りCクラスの遮へい要求でございますので
1:59:36	何といたしますかね、Cクラスの場合は、
1:59:38	けえと計算書、
1:59:40	についても、
1:59:44	従来から添付してないということもありますのでこのこの資料としては、当波及影響の評価すなわち4000マイクロの評価ということで対応するのかなというふうに思っております。持たないことを宣言するわけではないです。
2:00:04	まだわからないですか。はい。
2:00:16	はい。こちらの説明で結構です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:29	ちょっとあるんです。
2:00:31	中四国沖鈴木です。最後にそれでは地盤の安定性に係る評価の概要について説明をさせていただきます。
2:00:40	こちら周辺斜面の評価も含めた内容になりますが、地盤の安定性に係る評価については、資料 9-1 の別紙
2:00:50	使用済み燃料乾式建屋の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価についての資料で評価結果を示してございまして、
2:01:00	こちらの内容につきましては、設置許可の審査審査会合の中で、
2:01:05	確認いただいた内容となっております。
2:01:08	今回の設工認の建屋の計算書に合わせまして建屋の重量を若干見直してございますが、設置許可の段階から評価手法ですとか、評価内容が変わったのではなく、基本的には設置許可の段階で審議いただいた内容の再掲となっております。
2:01:27	具体的に概要説明させていただきますので、工認添付資料の資料 9-1 別紙をご覧ください。
2:01:35	先ほど説明しましたCの資料 9-1 の耐震設計の基本方針の資料の後ろに別紙として地盤安定性評価の資料 9-1 名がございます。
2:01:51	それでは説明をさせていただきます。
2:01:53	まず 1 ページをめくっていただいて 1 ページ目を建家と評価断面の位置図を示してございますが、
2:02:02	基礎地盤の安定性評価については、こちらの平面図、赤で示した断面、
2:02:09	こちらが施設の直交断面として設定した断面でN' 断面と' 断面を設定してございます。
2:02:20	この後、東西方向の断面である出しな面については、途中で折れ曲がりような格好をしてございますが、
2:02:30	これは東西方向の断面を純粹にまっすぐ設定いたしますと、
2:02:35	建家から斜面が遠い位置となりまして、
2:02:40	発議警察なんて斜面勾配が緩くなる断面となってしまいますので、純水まっすぐ来手間ではなく、斜面がより近く斜面勾配も急となるような断面として、このような' 断面を設定したものでございます。
2:02:57	さらに立岩透斜め断面として斜面が最も近くかつ公安も急となるようなPP' 断面、こちら緑で示した斜めのpp' 断面を設定して、
2:03:13	こちらのほう断面で基礎地盤の安定性評価を実施してございます。
2:03:18	こういった断面設定の考えも設置許可の段階で審査いただいた内容のままでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:25	評価内容といたしましては、6 ページをお願いします。6 ページ 7 ページ。
2:03:33	こちらに滑りの安全率の結果、
2:03:38	次の 8 ページ。
2:03:40	こちらが接地圧を指標とした基礎底面の支持力の評価。
2:03:46	9 ページ。
2:03:47	の 9 ページに基礎底面の傾斜評価をしてございます。
2:03:54	続きまして周辺斜面につきましては、先ほど 1 ページに示しました断面のうち、
2:04:03	／n' 断面、こちらは斜面を有さない断面ですので、周辺斜面を有する' 断面と緑のpp' 断面、
2:04:13	について、安定性評価を実施してございまして、
2:04:16	その結果が 19 ページ。
2:04:21	きっちりとする 19 ページに周辺斜面の安定性評価の結果を示してございませ
2:04:28	す。
2:04:28	基礎地盤周辺斜面のいずれの評価項目においても評価基準値を満足していることを確認してございます。
2:04:36	ということで、内容といたしました設置許可の内容の再掲といった形になってござ
2:04:46	いますので、以上簡単に資料の概要を説明させていただきました。
2:04:46	説明は以上です。
2:04:50	規制庁のいす。
2:04:52	重量が変わったとおっしゃってましたがどれぐらい変わったとか、やっぱりって
2:04:58	ますでしょうか。
2:04:58	資料に記載を四国電力スズキです。資料に記載はしてないんですけど、4%ほ
2:05:09	はい。
2:05:16	はい。
2:05:18	説明は補足説明資料か何か付け加えるようにしてください。
2:05:27	四国電力の鈴木です。設置許可の内容から変わった部分というのが重量だけ
2:05:42	ということで、補足説明資料はこれについては作成してございませんので重量
2:05:53	の記載については、添付資料のほうに、
2:05:53	追加する形にいくと思います。
2:05:55	規制庁井上です。
2:06:05	このモデルの建屋の構成はどのようにモデル化してるんでしょうか。
2:06:05	職員のスズキです。こちらも建屋の系炭素の剛性に合わせる形でモデル化を
	してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:14	はい、了解しました。
2:06:22	はい。
2:06:24	規制庁のイノウエでそれを
2:06:27	回答です。
2:06:30	ですから、あえて
2:06:33	四国電力するケース、所できました。先ほどの重量と同様にこの添付資料の別紙の資料に追記しておきます。
2:06:44	はい、お願いします。
2:06:54	規制庁のS2のため確認なんですけど、これ設置許可も乾杯と建屋の位置も大きさも変わってないということによろしいですか。
2:07:04	なるほど。
2:07:05	統合さを、
2:07:07	はい、変わってございません。
2:07:09	ございます。
2:07:19	はい。
2:07:21	ありがとうございます。こちらからの質問は以上です。
2:07:37	新四国電力タキガワですとりあえず今日日本の資料は一通り説明させていただきました。
2:07:45	規制庁サクライですけどTHAICのところについては、もしかして今日そちらと四国電力としては、今日これでどう説明して取り合ったって感じなんですかね。
2:07:59	自分
2:08:00	はい、四国電力タキガワですけどその認識でございます。
2:08:05	あと、
2:08:10	今等のヒアリングにおいては申請書の1億9-1の基本設計基本方針からこういう方針でありますけど御説明あってその中で特出しとして特出しというか、としての地震を9-12-1とか2であったり、
2:08:29	で、地震応答解析ちいのモデル
2:08:33	主に説明していただいたのとあと9-10-1-10-1、14-2とかで波及的影響の評価の概要等説明されて、まだちょっと都政で等級のかつていうの1の別紙等々で地震安定性に関わる
2:08:50	評価の概要を説明していただいたという認識なんですけれども、ちょっとg落としたりと、
2:08:58	もうちょっと聞きたいこともあるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:02	100%と今今日出されたものの回答等あると思うのでまた次回コメント回答移つとも、また別な箇所についてもうちよっところからキックと思いますので、その旨は、
2:09:19	いや、資料 9 をもとに、我々でコメントをいろいろつくって、それを提出して、
2:09:28	メンバーとしてもらう、いつもここに
2:09:31	ヒアリングの形でよろしいですか。はい。
2:09:35	はい四国電力タキガワです。了解いたしました。
2:09:44	はい。じゃあ一応ヒアリングとして審査できる
2:09:49	ちょっとまだ決まって、
2:09:52	はい。
2:09:54	アジアのヒアリング閉ではこれでツカベさんが何か質問等ありますか、今回の概要というか、
2:10:04	突っ込みは特段込めておりません。
2:10:08	本日の会合でヒアリングといった終わりにしましてありがとうございました。
2:10:14	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。